



さとやま通信 1月号

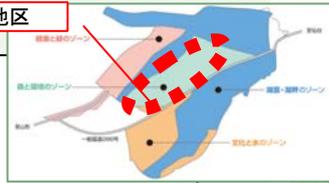
「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、公園区域中央、釜房湖に突き出した部分にある雑木林とスギ・ヒノキなどの植林地で構成された「さとやま」です。

「人と自然のふれあい」をメインテーマとして、平成26年春の開園を目指しています。これまで、ツリーハウスづくり、樹林地管理や観察会など、さまざまな活動を行ってきました。

今年度は、開園を目指して、「里山遊び塾」・「里山育て塾」・「里山発見塾」の3つの活動を行っていきます。

里山地区



平成 25 年度は、6月29日に新年度ガイダンスを行い、7月から活動をスタートしました。「里山遊び塾」を月2回、「里山育て塾」・「里山発見塾」をそれぞれ月1回のペースで、毎週活動を行っています。

里山遊び塾 1月11日(土) 晴れ

●新年最初の活動

新年の挨拶の後、さっそく活動を開始しました。開園に向けて、たくさんやる必要があります。

●「あかまつだいら」の笹刈払い

この場所は、平坦で広がりがあるため、活動場所に適しています。アズマネザサが繁茂していましたが、せっせと刈払いをしています。

斜面を刈ると、眺望がよくなりました。この笹は、会員活動の隠れ家づくりに使います。



●材の運搬

旧町道に置いてある大きな木材は、これからの活動に使う予定です。この場所で工事をする事になり、場所を空けなくてはいけなくなりました。工事の邪魔にならない空き地に移しました。

●井戸掘り

井戸掘りは、地道に気長にやっています。交代して掘り進めています。



●展示台づくり

地域交流館「小野分校」では里山についての展示をします。材の紹介に使う展示台を活動で作っています。



●看板づくり

里山地区のメイン看板を作っています。これは横断地下道入口に付けるもの。

里山発見塾 1月18日(土) 晴れ

テーマは「冬の自然観察」です。

いよいよ炭焼き開始！

●第7回会員活動

年明け初めての会員活動。この日から炭焼きを開始しました。会員にも参加してもらいました。

●だまこなべとがんづき

昼食は、子供達が飯盒でご飯を炊き、「だまこ」を作りました。デザートにはがんづき(雁月)。いずれも東北の郷土料理です。

●炭焼き

炭焼き名人とボランティア有志は前日の17日から7時半に集合して、炭焼き準備をしました。薪を割り、窯に立て込みます。ぎっちり入ったら、前焚き。煙の状態を見て、蓋をしました。



●冬の自然観察会

雪があると、動物の足跡などが観察できるのに、今年は雪がありません。とっても、残念！

そこで、冬枯れした雑木林を観察。去年かけた巣箱はキツツキが使った様子。オオタカの巣も見えました。その時、谷向こうにカモシカ発見！



●第8回会員活動

前の週に引き続いて第8回の会員活動です。なぜ2週続けて会員活動にしたのか？それは炭焼きの窯出しを子供たちに見てもらいたかったから。

会員は窯の近くに集まって見学。真っ赤に焼けた炭はかなりの迫力！思わず歓声が！



●隠れ家づくり

午後の会員活動は、隠れ家づくりです。3班に分かれて作っています。どの班も骨組みはできたので、屋根ふきをしています。屋根は「あかまつだいら」で刈払いをしたアズマネザザ。

●カマド周りの整備

カマドの周りが狭いため、古い丸太を埋めて上に土で固めて、作業場所を作りました。



●メイン看板の皮剥き

里山地区のメイン看板は、里山のスギ丸太で作ります。同じような太さの材を集め、ひたすら皮剥きをしています。

●炭焼きについて

木伐い・運搬

原木のナラなどを伐倒して、1mの長さに玉切りしました。キャリアと軽架線を使って、窯まで運搬しました。



薪割り

太い木は、木口に鉄製のクサビを入れ、大きなハンマーで叩きます。木目に楔が入り、メリメリと割れるのです！



立て込み

原木を窯の中に立ててを詰めていきます。手前に来ると、投げて立てていきます。これを「投げ立て」といいます。



前焚き

窯いっぱい立て終わったら、窯口で火を焚きます。窯内の温度を上げ、炭化を開始させるためです。



炭焼き

煙の匂いや色、窯の状態などを見て、よい状態になったら、小さな空気穴を残して窯口を石と粘土で塞ぎます。このまま一晩。



精錬

翌朝、窯の様子を見ます。煙の色、匂いなどで炭化が終わる状態か判断して、塞いでいたところを時間をかけた少しずつ開けます。



窯出し

いよいよ炭出し。手前の方からゆっくり出します。炭は真っ赤に燃えています。熱い！



炭灰かき

出した炭を窯から離れた所まで引き寄せ、炭灰(すばい)という消し炭をかけて火を消します。これで完成！

